



パナソニック  
オートモーティブ  
システムズ株式会社  
商品企画部  
山鹿博史 氏

# Panasonic Strada F1X PREMIUM10 CN-F1X10BGD

**1** ヤーモデルごとに、新たな機能を追加することで馴染みもなったストラダF1X。2022年モデルにおける最大の見どころは、自宅にあるレコーダーとナビ本体がつながるレコーダーリンク機能だ。

「実は2年ぐらい前から構想がありました。ナビの中でレコーダーの映像を見ることができないかという試行錯誤してた時に、これは実用できるよねというような技術が見つかりまして(山鹿氏)。

超えるべき壁は技術的な面のみならず、それ以外にもあった。「懸念したのは、お客様のパケット通信を使つてのストリーミング再生になる点です。お客様によっては容量的に余裕のない方もおられます。そのため、パケットを節約されたい方には画質を選択できるような機能

「レコーダーリンクの画面に切り替わった瞬間に違和感があったら商品として成り立たない」と同じ世界観を出したいから、この画面の統一性にもこだわりました」

能を入れたり、どれぐらいパケットを使っているかも表示できるようにしました(山鹿氏)。

「パケット使用量を控えめにしつつ、画質を維持できる工夫もあった。」「パケットを間引くと解像度は落ちますが、パケット節約モードでも、画質的には全然悪くないなと思ってるんです。大事なのは、その設定ポイントですね。パケットを抑えつつ、見映えのする画質を維持する調整が肝心です(山鹿氏)。

高精細の有機ELディスプレイを使うだけに、映像そのものの見栄えが悪くなるのは許されたい。その観点による改善は、新機能であるレコーダーリンク以外にもあった。

「これまでのモデルで、ワンセグかフルセグかちょうど切り替わるシチュエーションにおいても、安定したデータシ視聴が可能となり、受信環境によっては、不完全な状態でデータを受信してしまう場合がありますが、それを訂正する機能が向上しています(中川原氏)。

車内はノイズとの闘いでもある。その点で言うと、宅内

## 高精細ディスプレイによる独自の持ち味をさらに活かす他方面からのチューンアップ

の家電より環境としては過酷だ。「クルマ自体のノイズもかなり増えている状況です。特に最近では電子化も進んでますので、よりノイズには苦労しています(中川原氏)。

映像面での向上はもちろんのこと、前モデルに引き続き、音の面でもチューンアップが行われている点にも注目したい。

「昨年のモデルで、音質面の見直しをおこないました。今モデルでもそれは継続しています。画質面がよく注目されますが、音質面でも高い評

「お客様のニーズが高い。地デジの受信感度を向上しました。ワンセグとフルセグが切り替わるシチュエーションでも、安定した地デジ視聴が可能に」

パナソニック  
オートモーティブ  
システムズ  
株式会社  
商品設計  
中川原光洋 氏



価を頂いているんです(中川原氏)。

地デジ受信性能が上がり、音質が向上したことに加え、レコーダーリンク機能は新たな視聴シーンも可能にしている。

「ご自宅から遠いところに行かれた時、受信可能な放送局が変わるため、地デジチューナーだけではいつもの番組を観られない場合があります。その点レコーダーリンクなら、録画番組だけでなく、どこに行ってもローカル局の放送が観られるというメリットもあるのです(山鹿氏)。



### 選出理由

着実進化で極みに到達  
その洗練度は群を抜く

### 受賞製品メモ

フローティング構造による立体的な10V型大画面と、有機ELディスプレイによる鮮やかな描写力が、新たに搭載されたレコーダーリンク機能でさらに活きる。自宅のレコーダーで録画した映像をも車内で再生でき、運転時以外でも活躍してくれる。



カーグッズ・オブ・ザ・イヤー-SPL

時代の先を行く  
先進製品が生まれるまで

[インタビュー特集]

# 傑作プロデュースの 意義と意味



創刊以来の名物企画  
「カーグッズ・オブ・ザ・イヤー」は  
登場年を象徴するその年のカー用品の顔を定めるもの。

あまたある多種多様な用品のなかでも  
ひととき目を引く話題性に溢れた選出品は  
過去を象徴するだけでなく、近未来のカー用品界をもうらなう。  
いつ開発がスタートし、どのような過程を経て製品化を果たしたか。  
そして、そこで得られた実績や反響とは何か?

傑作だからこそ、じっくり聞きたい、そこんどこ。  
世に送り込んだキーマンに聞くそのバックストーリーを  
3号連続展開の締めくくりとして、ここでじっくりとお届けしよう。



## 制作者に聞く、名品リリースの舞台裏

※インタビュー取材にあたり、撮影中のみマスクを外してご対応頂きました